

ウルトラの魂を託されし者達

偉大な先人達から託された“ウルトラの魂”とは何か。貴重な現場体験の数々や、天才的なクリエイター達からの様々な教えと気づき。そして、未来に生きる若者達に語り継ぐことの大切さを、脚本家兼監督でもある本学特任教授の梶研吾が、お二人からお聞きします。

未来へ繋ぐ

『ウルトラQ』では江戸川由利子、『ウルトラマン』ではフジアキコ隊員を演じられた“ウルトラの女神”こと女優の桜井浩子さん、『ウルトラマンマックス』でプロデューサーと監督、映画『大決戦！超ウルトラ8兄弟』で監督を務められた八木毅さん、お二人をゲストにお迎えしての特別講義を行います。



桜井 浩子

女優・コーディネーター

1956年、講談社の少女雑誌「なかよし」の写真小説「ひとみちゃん」のヒロインに抜擢。
1961年、オール東宝ニュータレント第1期生として入社。「青べか物語」「社長外遊記」「お嬢ちゃん三代記」「江分利満氏の優雅な生活」等に出演。
1966年、「ウルトラQ」「ウルトラマン」にて初代ウルトラヒロインとなる。
1993年より円谷プロにて女優・コーディネーターとして活動。近著に『ウルトラQ』『ウルトラマン』全67作撮影秘話ヒロインの記憶』がある。



梶 研吾

漫画原作者、監督、脚本家、プロデューサー

『子連れ狼』等の原作で知られる劇画界の重鎮、小池一夫主宰の劇画村塾第4期生を経て、漫画原作者としてデビュー。漫画原作作品に『交通事故鑑定人・環倫一郎』『“殺医”ドクター蘭丸』『宇狼の天空』『弁護士・綾小路春彦』『烈王』他多数。『そば屋幻庵』は、累計発行部数190万部を超えてロングランヒット中。映像の仕事も兼任し、脚本作品に『ウルトラマンコスモス』『牙狼-GARO』『ウルヴァリン』『アイアンマン:ライズ・オブ・テクノヴォア』『黒塚-KUROZUKA』他。監督作品に『ウルトラマンマックス』『ULTRA SEVEN X』『ウルトラマンメビウス』『大怪獣バトルNEO』『ウルトラマンギンガ』『ハツカレ』『執事喫茶にお帰りなさいませ』『ゲキ×シネ 饜饉城の七人』他。プロデューサー等として関わった作品に『渋谷怪談』『修羅雪姫』『エコエコアザラクⅢ Misa The Dark Angel』『PUPS』『バース・アイ』『うずまき』他がある。日本映画監督協会、日本シナリオ作家協会、日本漫画家協会会員、神奈川工科大学情報学部情報メディア学科特任教授。



八木 毅

監督・特技監督・プロデューサー・作家

早稲田大学卒業後に円谷プロダクションに入社。円谷英二の後継者である満田かずほ監督、高野宏一監督、佐川和夫監督、鈴木清プロデューサーなど多くのウルトラスタッフから学び助監督を経てTV『ウルトラマンガイア』（1998）で監督・特技監督となる。以降、数々のウルトラシリーズを監督。『ウルトラマンマックス』（2005）では監督兼プロデューサー兼シリーズ構成となる。監督作品の映画『大決戦！超ウルトラ8兄弟』（2008）は歴代ウルトラ映画でNo.1興行収入作品となる（2022年に『シン・ウルトラマン』が公開されるまでの14年間）。2007年に12月31日に円谷プロを退社して独立。北米のオンラインサブスクリプションサービス「NARO」の特撮講座の一環として短編映画『AKARI』（2022年）を監督・脚本・製作した。『AKARI』はファンタジア国際映画祭（カナダ）2023招待作品。中国製作の中国向け特撮ドラマの特技監督を担当するなど海外との仕事も多く、現在もプロジェクトが進行中。2021年に書籍『ウルトラマンマックス15年目の証言録』を発表。以後は作家としても活動中。

2024年

日時

10/30 (水) 15:30~17:10 (4限)

会場

K3号館 3506 講堂

当大学の学生、教職員であれば受講していただけます。会場へ直接お越しください。

※当日は桜井さんへのテレビの取材撮影が入る予定です。

お問い合わせ



地域連携・貢献センター TEL 046-291-3212

(平日10:00~17:00)

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 <https://cp.kanagawa-it.ac.jp/coc/>

協力

紀伊國屋書店